

サービス改善計画書

策定日：令和8年1月30日
事業・サービス名：保育所サービス
施設・事業所名：大津市立伊香立保育園

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考 (必要な予算等)
Ⅱ-3 人事管理 Ⅱ-3-(1) 職員の就業状況に配慮がなされている 4 ① 職員の就業状況や意向を反映し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b	・勤務時間に事務ができるように短時間保育士に入ってもらいが、一人担任だと捻出できず、時間外勤務することもあった。 ・園長との面談は定期的には、できず何かあれば話を聞かが、コンスタントにできていない	・短時間の保育要員には、前もって計画的に入ってもらっているが、必要な仕事の優先順位を考え、ワークライフバランスを大切に勤務変更も工夫していく。 ・園長面談を計画的に予定を組み、職員に知らせ話しやすい環境を整えていく。	令和8年度中	園長 代表保育士	
Ⅲ-4 安心・安全な保育の提供 Ⅲ-4-(1) 安心・安全な保育の提供のための組織的な取り組みが行われている。 23 ③災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にやっている。	b	・新園舎になり、毎月の避難訓練で避難経路を確認しながら取り組んでいるが、様々な避難の仕方を考え避難経路の検討が必要である。 ・保育園の近隣には第2避難場所がなく、遠方にしかない。避難する場合、自治会や消防など連携が必要になってくる	・避難訓練の様々な想定内容より、実際に訓練を行い不都合な内容をその都度考え再検討してきたので、次年度に活かしていく。 ・自治会の防災担当と連携をとり、避難が必要になった時には、どの場所にどのような方法で行けるかを明確にしていく。 ・福祉避難所になった場合には、職員間で対応の仕方を共有していく	令和8年度中	園長 代表保育士	
Ⅳ-1-(4) 保育の質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。 33 ②評価結果に基づき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的に改善に向け取り組んでいる。	b	・昨年度の園評価の結果に基づく取り組みについて、昨年度末に職員間で検討したが、新年度、異動してきた職員に課題の共有化が図られていなかった。	・園評価で検討した課題を異動職員にも具体的に伝え、会議の時に進捗状況を確認し、改善内容を職員間で共有できるようにしていく。	令和8年度中	園長 代表保育士	